



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

THE Y'S MEN'S CLUB OF K O B E

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

CHARTERED FEBRUARY 17 · 1930



- ブラザークラブ：高雄（台湾） チェンマイ（タイ） 米子（西日本区）
- 国際会長主題：すべての世界に出て行こう—イクステンション、イクステンション、イクステンション
- アジア会長主題：未来を始めよう、今すぐに—ひとつのアジア、世界はひとつ
- 西日本区理事主題：志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう
- 六甲部部長主題：さらなる交流、さらなる国際、さらに活発な六甲部へ
- クラブ会長主題：クラブの伝統を踏まえ、それぞれの役割を愉しみながら、全員参加でクラブの新しい「顔」を皆で作ろう。そして、クラブに、沢山の新しいメンバーを迎え入れよう。

2013年12月

EMC-M強調月間

今月の聖句

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書3章16節

12月7日(土)神戸・米子合同クリスマス例会

日時：12月7日(土) 18:30~21:00

場所：TOOTH TOOTH MASON 15
(旧神戸居留地15番館)

費用：5000円

第一部 例会とクリスマス礼拝

司会	城純一メン
開会点鐘 18:30	進藤啓介会長
聖句朗読と開会の祈り	山口 徹メン
開会礼拝	山根貞夫司祭

クリスマスメッセージ
「羊飼いと飼い葉桶」

第二部 愛餐会

”クリスマスに素敵な歌声を”

会長挨拶	神戸クラブ	進藤啓介メン
米子クラブ挨拶	米子クラブ	野口純一会長
乾杯	瀬戸山陰部地域奉仕・環境主査	福永君二メン

ハッピーバースデー

閉会点鐘 20:30

12月誕生日おめでとう

25日 佃 治子

11月在籍者	11月出席者	11月出席率
22名	メン 15名	71%
内功労会員	メネット 8名	(含メイキャップ°)
	コメット 0名	
1名	ゲスト 0名	前月出席率
合計 22名	合計 23名	91%

11月分BFポイント

切手 0円 現金 0円

本年度累計

切手 0円 現金 0円

12月第2例会

◎12月第2例会は、休会です。

会長 進藤啓介 副会長 長内建佑 井出 浩 会計 森 章一

書記 鶴丹谷剛 山本亮司 連絡主事 山本亮司

口座番号 三井住友銀行三宮支店 普通預金No. 1494643 名義人 神戸ワイズメンズクラブ 会計 橋本正晴

例会：第1例会 毎月第2火曜日 18:30 第2例会 毎月第4火曜日 19:00

会長メッセージ 『クリスマス』

進藤啓介

先月も書きましたが、今年も早12月を迎えました。先日、久しぶりに友人と雪を求めて大山に行ってまいりました。標高1730メートル程の低い山ですが、立地条件で今はもう2合目位まで雪がありました。久しぶりの秋山？を楽しませていただきました。

さて、12月を迎えると、巷ではクリスマスです。我々もクリスマスをお祝いし、沢山の祝会が持たれます。イエスの誕生を祝い、イエスから教えられた我々の役目を改めて考え直すという点では、非常に大切なことだと思います。一方、フィリピンでは11月の台風で大きな被害を受け、死と直面しておられる方々がおられます。東日本、また阪神・淡路の大震災を思い出させるような出来事です。神戸に住んでいる我々には、

その苦しさは手に取るように解ります。是非、我々にできる最大限の努力で被災された方々へ援助の手を差し伸べたいと思います。神戸クラブとして、また個人として何が出来るのか？考えてみたいと思います。

残念ながら、遠くに住む者にとって、『現場』が見えないだけにどう行動したら最適なのかわかりません。YMCAの情報を持って、YMCAと共に活動することが一番いい事だと思いますが、今、我々にできる精いっぱい活動をすることで、現地の被災された方々にエールを送りたいと思います。

今年のクリスマスの祈りは、この行動をもって祈りにかえたいと思います。

チェンマイクラブ訪問報告

城 純一

1ヵ月報告が遅れましたがタイワークキャンプ30周年記念交流ツアーに参加してさる9月13日から18日までチェンマイYMCAと第22回、第30回ワークキャンプ建設施設の訪問ツアーに参加してきました。

神戸YMCAの水野総主事、中道理事長夫妻はじめ総数22名の参加者でしたが神戸ワイズからは、進藤会長、山口、大塚、馬場、原、城夫妻のワイズメン、メネットの7名が参加しました。他に神戸ポート1名、宝塚1名のワイズメンが参加しました。

過去にも、チェンマイクラブとの交流会がチェンマイYMCA訪問時にありましたが今回はタイワークキャンプ30周年記念という事でもありかなり準備を重ねた歓迎でした。

訪問二日目の午後チェンマイワイズメンズクラブ主催の交流会がありましたが写真にありますように正面にチェンマイクラブと神戸クラブIBCミーティングと書かれた大きな掲示がありチェンマイクラブ会員20名の内の半数を超える11名のワイズが参加されました。

チェンマイクラブの会長は、長らく総主事をされた故ワラキットさんの夫人でラチャンさん、チェンマイYMCA理事長やパチャリンさん、ナリニーさんといったチェンマイYMCAの主なス

ッフが会員となりワイズ活動をしています。

交換会の会場にはスクリーンも用意されパワーポイントでチェンマイクラブの活動内容が報告されましたが学童キャンプ支援、国際活動、ワークキャンプ支援といったチェンマイYMCAの支援が主なものでした。

神戸クラブは、残念でしたがパワーポイントによる情報交換が用意されていることをうかつにも知らなかったので口頭でチャリティラン、東日本大震災募金、タイユースキャンプ支援など年間を通じた事業を説明しました。

情報交換会に引き続きバンコック・ワイズメンズクラブとチェンマイクラブとの合同会長就任式があり元アジア地域会長も臨席して二人の会長就任式がありました。両クラブとも女性会長で二人とも再任されました。

神戸クラブは、2015年に85周年を迎えると話しましたところその際には会長はじめ5~6人のメンバーで訪問すると約束されこれからの準備がはじまります。



＜今月の聖句に添えて＞

12月を迎えました。クリスマスです。でもクリスマスの本当の意味がどれほど伝わっているのでしょうか。神様に背を向けている人類をなんとかして罪の束縛から解放したい。それにはどうしても身代金を払わねばならない。神様は大切な独り子の命をもって人類の救いを全うされたのです。

これがクリスマスです。

(山根貞夫司祭@神愛修女会・深和ホーム)

11月例会 チャリティラン

井出 浩

秋恒例、しあわせの村でのチャリティラン。今年11月4日振替休日に開催された。クラブメンバー集合の8時半には、近くの駐車場は満車状態と、参加者の多さ、出足のはやさを感じさせるスタートとなった。

少し気温は低めながら、風はさほどなく、駅伝日和。な也の支援を受けてのホットドッグの販売に、昨年からのリンゴ販売の用意にもほどよい気候。昨年は、リンゴの売り上げは順調だったが、ホットドッグは売り切ることができず、苦戦したことを思い、若干の不安を抱えつつ、結果は、鉄板から飛び出したソーセージがいたため、ホットドッグ250個の予定が245個を完売、リンゴ81個も勿論売り切れ、一安心。31,707円の貢献ができた。

ところで、販売終了、撤収中に、にわかには暗雲立ちこめ、冷たい雨と風。その中、1/100マラソンに美崎メンは参加された由。結果は如何。

11月27日版総主事マンスリーレポートに拠ると、参加チーム233チーム、ランナー964名、ポ

クラブからのお知らせ

▼12月クリスマス例会会場

TOOTH TOOTH maison 15th トゥースハウス マゾン 15
神戸市中央区浪花町15 旧神戸居留地十五番館
078-332-1515



ランティアは298名、観客数1500名、総勢2762名が集った大会で、11月4日現在、収入総額は、2,415,292円とのことである。



▼BFファンド切手切り大会

日時：12月17日（火） 16時～17時

場所：三宮YMCA会館

▼2014年神戸4クラブ合同新年例会

神戸西、神戸ポート、神戸学園都市、神戸クラブで、合同新年例会を持つことになりました。

日時：2014年1月11日（土）18時頃～20時頃…

(YYフォーラム終了後)

場所：神戸グリーンヒルホテル

費用：3,500円…但し、会員以外のユースは1,000円

・乾杯は含みますが、以後の飲み物は

別途自己負担していただきます

プログラム：・リーダー研修会報告等

ご予約ください。



Kobe Menettes

Declared March 10・1965

沢 知恵さんのコンサートを終えて

森 愛子

神戸クラブ10月例会では、神戸 YMCA ミッション委員会企画の沢知恵さんのコンサート開催のための募金にご協力を頂き誠にありがとうございました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

おかげさまで去る11月9日（土）、神戸栄光教会礼拝堂を会場に、YMCA スタッフやミッション委員の協力のもと、沢知恵さんのコンサートを無事に終える事ができました。今回のテーマは「本当の優しさと希望を」でしたが、テーマにふさわしく沢さんのピアノ、歌、メッセージからたくさんのお優しさや夢や希望や元気を頂きました。

私が初めて沢知恵さんのコンサートを聴かせていただいたのは、カトリック神戸中央教会での「りゅうりえんれん（劉 連仁）の物語」の弾き語りでした。「りゅうりえんれん（劉 連仁）の物語」は詩人茨木のり子の長編叙事詩で、日本軍に強制連行された一般の中国人、劉 連仁（りゅうりえんれん）さんの北海道での13年間の逃亡生活をつづった壮大な物語です。沢さんはその詩に曲をつけ、70分間、ピアノの弾き語りをしましたが、曲もピアノも語りも本当に素晴らしく、ドラマチックな世界にすっかり引き込まれ、その才能とパワーに圧倒されました。

そして、今回の沢知恵さんのコンサートもまた感動的でした。語りの中から彼女の人柄、信仰、生き方などが伝わってきました。いろいろ歌われた中で、特に「胸の泉に」という歌が心に響きました。この「胸の泉に」は詩人塔和子さんの詩を作曲したものです。塔和子さんはハンセン病療養所大島青松園でその人生を送った人です。沢知恵さんは生後6カ月の時、牧師であるお父様に連れられて大島青松園を訪れたそうです。当時、赤ん坊連れで訪れる人はもちろん皆無でした。お父様の死後20年経って大島青松園を訪れた沢知恵さんを、入所者の皆さんは覚えておられて大歓迎されたそうです。そこから沢知恵さんと塔和子さんとの交流が始まりましたが、塔和子さんは今年8月28日に83歳で天国に召されました。沢知恵さんは2001年より毎年大島青松園でコンサートを開き今も続けておられます。

学生時代に「救ライ奉仕団」に属していた夫と「来年は大島青松園での沢知恵さんのコンサートに是非参加したいね」と話しています。ハンセン病を負われた塔和子さんの人生への賛歌とも言える「胸の泉に」の詩をここに紹介します。

「 胸 の 泉 に 」 塔 和 子

かかわらなければ この愛しさを知るすべはなかった
この親しさは湧かなかつた この大らかな依存の安らいは得られなかつた
この甘い思いや さびしい思いも知らなかつた
人はかかわることから さまざまな思いを知る
子は親とかかわり 親は子とかかわることによって
恋も友情も かかわることから始まって かかわったが故に起こる
幸や不幸を積み重ねて くり返すことで磨かれ
そして人は 人の間で思いを削り思いをふくらませ生を綴る
ああ 何億の人がいようとも かかわらなければ路傍の人
私の胸の泉に 枯れ葉いちまいも 落としてはくれない

